

**特定保健指導の電子的なデータ標準様式  
特定保健指導情報ファイル仕様説明書  
Version 1.22**

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
<b>2. 概要</b> .....	<b>2</b>
2.1 本文書の位置付け.....	2
2.2 記載内容の優先度.....	2
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	2
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	2
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報.....	2
2.3.3 HL7CDA規格との関係.....	2
<b>3. 特定保健指導情報ファイル仕様</b> .....	<b>3</b>
3.1 全体構成の概要.....	3
3.2 ヘッダ部.....	4
3.2.1 名前空間.....	4
3.2.2 CDA管理情報.....	4
3.2.3 保健指導管理情報.....	4
3.3 ボディ部.....	19
3.3.1 保健指導報告区分とCDAセクションの関係.....	21
3.3.2 指導共通情報セクション.....	21
3.3.3 指導初回情報セクション.....	26
3.3.4 指導集計情報セクション.....	33
3.3.5 継続支援情報セクション.....	39
3.3.6 中間評価情報セクションおよび最終評価情報セクション.....	43
3.4 報告すべき項目とXML要素との対応.....	48
<b>4. OID表</b> .....	<b>53</b>

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

# 特定保健指導情報ファイル仕様説明書

## 1. はじめに

### 1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施されるいわゆる特定保健指導において、電子的なデータ標準様式に基づいて「特定保健指導」に関する実施情報を保健指導機関が医療保険者に報告する際に使用する仕様について詳細に説明することである。技術的な観点からは、HL7 Clinical Document Architecture Release 2 (以下 CDA R2)に基づく特定保健指導情報ファイルのXML(eXtensible Markup Language)による電子的標準様式を定義するものであり、別途公表されているXMLスキーマを説明および補完するものである。

### 1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム確定版	2007年4月	標準的な健診・保健指導プログラム(確定版 2007年4月厚生労働省) <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html</a>
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	2007年7月以降	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」(2007年7月～) <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/iryouseido01/info03d.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/iryouseido01/info03d.html</a>
特定健診情報ファイル仕様説明書 本文書中で「健診仕様書」として引用している。	V1.27以降	本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目コード表		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3の2005年度規範版パッケージ。CDA Release 2.0の規格書が含まれる。
日本HL7協会 診療情報提供書	1.0	日本HL7協会が策定した、CDA R2規格をベースとして診療情報提供書の規格。 <a href="http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf">http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf</a>
HL7 CRS	final draft	米国HL7協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	eXtensible Markup Language <a href="http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/">http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/</a>
XPath	1.0	<a href="http://www.w3.org/TR/xpath">http://www.w3.org/TR/xpath</a>
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き(医科)」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き <a href="http://www.ssk.or.jp/rezept/jiki_i/index.html">http://www.ssk.or.jp/rezept/jiki_i/index.html</a>

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version:	1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書		

## 2. 概要

### 2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施される特定保健指導の実施情報を、保健指導機関が保険者または代行機関に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。本書で定義される特定保健指導情報の仕様は、別の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立って必ず「特定健診情報ファイル仕様説明書」（以下、健診仕様書）を読む必要がある。

### 2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と前項の厚生労働省文書との記述に相違がある場合には、前項の厚生労働省文書との記述を優先するものとする。

### 2.3 標準フォーマットの基本的な方針

#### 2.3.1 1保健指導1ファイル

本標準フォーマットは、1人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1報告）ごとに1つのXML形式で格納し、1個の電子ファイル（WindowsやUNIXなどのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）が含まれている。

1人の受診者の1報告ごとに1電子ファイルとし、複数報告もしくは複数受診者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1電子ファイルに、複数報告もしくは複数受診者の実施情報を格納することはできない。

#### 2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報

本標準フォーマットは、2008年度から実施される特定保健指導の実施情報を格納することを目的としている。具体的には、厚生労働省健診プログラム確定版（以下、確定版）第2章別紙8-1の「2特定保健指導情報ファイル」に対応しているものである。すなわち、確定版第2章別紙8-1に記載の保健指導情報項目と、健診機関・利用者・保険者等に関する識別情報を含んでいる（ただし確定版第2章に記載の健診項目は確定版公表以後にも修正されていることに利用者は留意する必要があり、修正情報は1.2節（参考資料）の厚生労働省健診プログラム手引書付属資料7、および<http://tokuteikenshin.jp>のホームページで公表されている。また2008年3月に厚生労働省から出された通知も参照する必要がある）。

#### 2.3.3 HL7CDA規格との関係

本標準フォーマットは、HL7CDA Release 2（以下CDA R2）規格<sup>1</sup>に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7CDA規格で定義されるXMLスキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XMLタグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

<sup>1</sup> ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

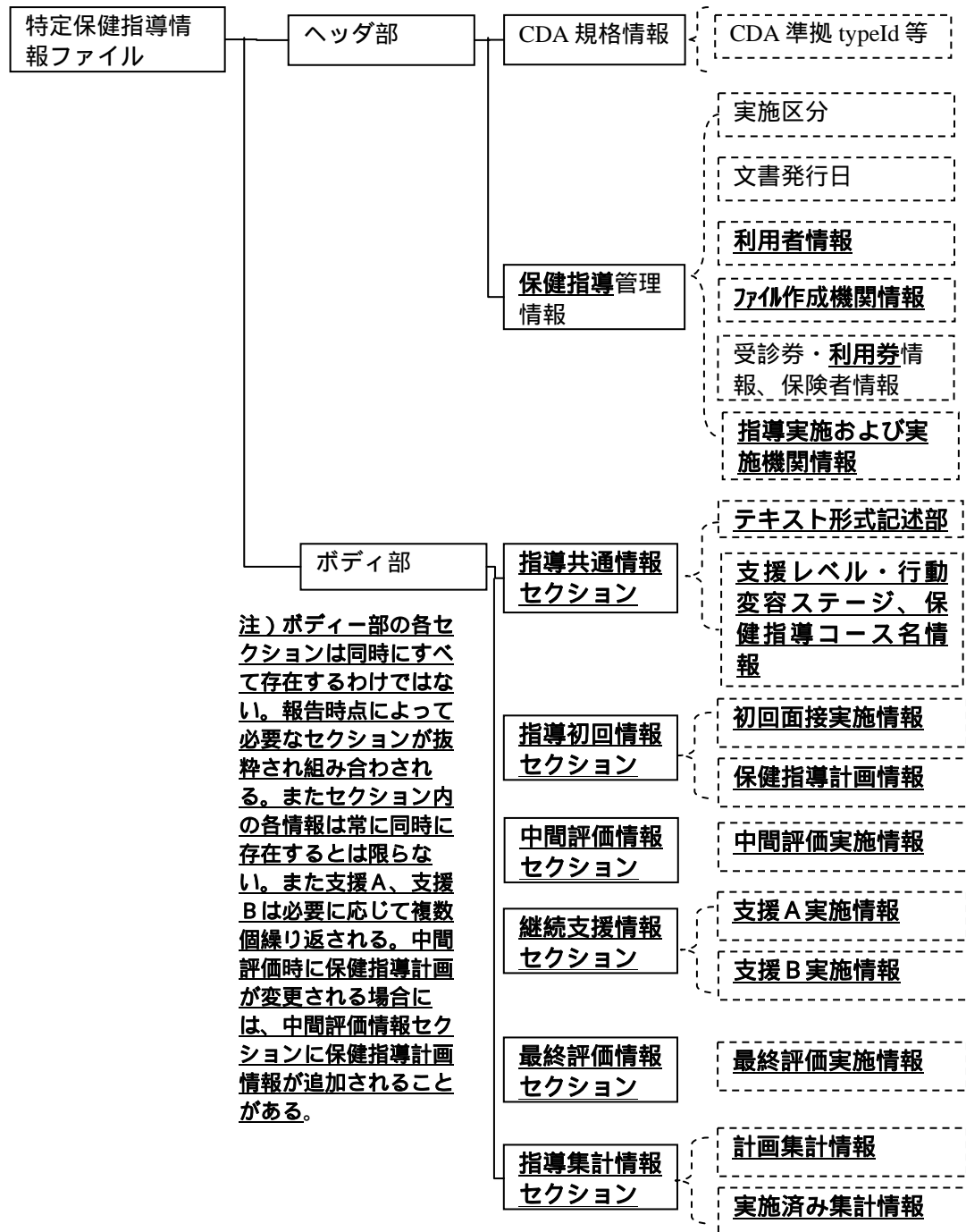
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3. 特定保健指導情報ファイル仕様

図表中で健診仕様書との相違の主要部分は太字下線で示している。

#### 3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）情報、作成者情報すなわち**保健指導機関情報**、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**や保険者情報などの健診管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

## 3.2 ヘッダ部

### 3.2.1 名前空間

健診仕様書の当該部分と同一である。

### 3.2.2 CDA 管理情報

健診仕様書の当該部分と同一である。

### 3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、**保健指導管理情報**であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	<u>下記の21、22、23、24のいずれかを設定する。なお国への実績報告には30を設定する。</u>  10: 特定健診情報、  <u>21: 特定保健指導情報開始時(別表11のコード1に相当)、</u>  <u>22: 特定保健指導情報実績評価時(集合契約の場合の最終決済時、別表11のコード2に相当)、</u>  <u>23: 特定保健指導情報途中終了時(利用停止等、別表11のコード3に相当)</u>  <u>24: 特定保健指導情報その他(別表11のコード4に相当)</u>  <u>30: 国への実施結果報告、</u>  90: そのほか(使用しない) 健診仕様書の当該部分の説明も必ず参照のこと。	1 桁目は別表 3 実施区分コード、2 桁目は別表 1 1 を反映した独自のコード表である。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

3.2	@codeSystem	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。	1..1	M
3.3	@displayName	使用しない	0..1	O
4	effectiveTime	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。	1..1	M
4.1	@value	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「YYYYMMDD」。	1..1	M
5	confidentialityCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。	1..1	M
5.1	@code	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。 「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	<b>利用者情報。</b> 構造を含め詳細は、3.2.3.1節に記載。	1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する <b>保健指導</b> 機関の情報(通常は送付元に相当する)。構造を含め詳細は、3.2.3.2節に記載。	1..1	M
8	custodian	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、3.2.3.3節のように記述するものとする。	1..1	M
9	participant	<b>利用者の受診券と利用券</b> に関する情報および所属する保険者に関する情報。被保険者番号に関する情報はここではなく、recordTarget に記述される。詳細は、3.2.3.4節に記載。	1..1	M
10	documentationOf	<b>保健指導実施情報。</b> 詳細は、3.2.3.5節に記載。	1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.2.3.1 利用者情報

ClinicalDocument の子要素である recordTarget 要素で利用者情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

表 3 利用者情報に含まれる項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	保険者番号	6.4.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	被保険者証等記号	6.5.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	被保険者証等番号	6.6.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	利用者の郵便番号	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
	利用者のカナ氏名	6.10.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name/text()
	利用者の性別	6.11.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
	利用者の生年月日	6.12.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value

保健指導情報では利用者の住所はないことに注意。  
受診者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

表 4 利用者情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者情報。	1..1	M
6.2	patientRole/id	健診情報整理番号1(厚労省資料との整合性をとるため説明上記載しているが、当面この番号は未使用のため本要素は出現しない)	0..1	O
6.2.1	@extension	「健診情報整理番号1」に対応する文字列。当面、要素自体が出現しない。	1..1	M
6.2.2	@root	健診情報整理番号1の OID。「1.2.392.200119.6.202」を設定。当面、要素自体が出現しない。	1..1	M
6.3	patientRole/id	健診情報整理番号2(厚労省資料との整合性をとるため説明上記載しているが、当面この番号は未使用のため本要素は出現しない) ただし、当事者間で利用者を一意に識別する ID 番号として使用したい場合には、本要素を使用することができる。	0..1	O
6.3.1	@extension	「健診情報整理番号2」に対応する文字列。当面、要素自体が出現しない。 ただし、当事者間で利用者を一意に識別する ID 番号として本要素を使用する場合には、この属性値に ID 番号を設定する。その場合には次の OID は指定されたものを使用すること。	1..1	M
6.3.2	@root	健診情報整理番号2を公式に使用することとなった場合には、OID として「1.2.392.200119.6.202」を設定。当面、要素自体が出現しない。 ただし、当事者間で利用者を一意に識別する ID 番号として本要素を使用する場合には、この属性値に OID として「1.2.392.200119.6.299」を設定すること。	1..1	M



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

6.4	patientRole/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保険者番号	1..1	M
6.4.1	@extension	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>保険者番号</b> 」文字列。数字 8 桁固定長とする。8 桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.4.2	@root	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M
6.5	patientRole/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 被保険者証等記号	0..1	O
6.5.1	@extension	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>被保険者証等記号</b> 」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成し、記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとし、いずれの場合にも空白を含めないこと。ただし電子化レセプトを作成している医療機関においては、これにかかわらず電子化レセプトでの記述形式と同一とすること。	1..1	M
6.5.2	@root	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 被保険者証等記号の OID。「1.2.392.200119.6.204」を設定。	1..1	M
6.6	patientRole/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 被保険者証等番号	1..1	M
6.6.1	@extension	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>被保険者証等番号</b> 」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成し、記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとし、いずれの場合にも空白を含めないこと。ただし電子化レセプトを作成している医療機関においては、これにかかわらず電子化レセプトでの記述形式と同一とすること。	1..1	M
6.6.2	@root	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 被保険者証等番号の OID。「1.2.392.200119.6.205」を設定。	1..1	M
6.7	patientRole/addr/	<a href="#">健診仕様と異なり郵便番号のみ。</a> 利用者住所情報。	1..1	M
6.8	patientRole/addr/postalCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 利用者の郵便番号	1..1	M
6.8.1	text()	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>受診者郵便番号</b> 」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む。	1..1	M
6.9	patientRole/patient	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 利用者個人情報	1..1	M
6.10	patientRole/patient/name	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 利用者の氏名	1..1	M
6.10.1	text()	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>利用者カナ氏名</b> 」に対応する全角文字列で空白を含めない。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

6.11	patientRole/patient/administrativeGenderCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>利用者の性別</b> 」コード。	1..1	M
6.11.1	@code	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> <b>利用者</b> の性別コードのニーモニック。男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.11.2	@codeSystem	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> <b>利用者</b> の性別コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.12	patientRole/patient/birthTime	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> <b>利用者</b> の生年月日。	1..1	M
6.12.1	@value	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「 <b>受診者の生年月日</b> 」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

XML サンプルは省略する。

### 3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

#### [健診仕様書の当該部分と同一仕様。](#)

特定保健指導情報のファイル作成機関であり、特定**保健指導**報告の場合すなわち XML 仕様 No.3.1 ( /ClinicalDocument/code/@code ) が「21」～「24」の場合には**保健指導を保険者から委託されて実施した保険指導機関、保険者自身、または保健指導を実施した健診機関や医療機関である。保健指導を実施した健診機関に関する情報は、author 要素で記述されるのではなく、documentationOf 要素中で記述される。**表 5 に示す項目がこの要素で表現され、このうちファイル作成機関番号とファイル作成機関名称は必須で、通常は特定**保健指導**情報の交換用基本情報ファイル中に記載されている送付元機関と同一機関の情報である。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
	ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
	ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
	ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
	ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

特定保健指導情報ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 文書作成日。このファイルの実際の作成日。XML仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告(effectiveTime)のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合では、両者を異なる値とすることは可能。	1..1	M
7.1.1	@value	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関	1..1	M
7.5	assignedAuthor/representedOrganization/id	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>ファイル作成機関番号</b> 」に対応する文字列。数字 10 桁固定。	1..1	M
7.5.2	@root	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関のための OID を設定。 <b>保健指導機関:「1.2.392.200119.6.102」</b>	1..1	M
7.6	assignedAuthor/representedOrganization/name	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>ファイル作成機関名称</b> 」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/representedOrganization/telecom	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。 例: "tel:0312345678"	1..1	M
7.8	assignedAuthor/representedOrganization/addr	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>ファイル作成機関住所</b> 」に対応する住所を2バイト系だけからなる文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u>	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

		「 <b>ファイル作成機関郵便番号</b> 」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9][3]-[0-9][4]。ハイフンを含む)。		
--	--	--	--	--

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

#### [健診仕様書の当該部分と同一仕様。](#)

特定保健指導情報の送信のためには特に必要としない情報であるが、HL7CDA 規格上は報告書管理責任機関情報として必須要素であるため表 7 のように記述する。

表 7 ファイル作成管理責任機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
8	/ClinicalDocument/custodian		1..1	M
8.1	assignedCustodian	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> ファイル作成管理責任機関情報	1..1	M
8.2	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> ファイル作成管理責任機関	1..1	M
8.3	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> ファイル作成管理責任機関の機関番号	1..1	M
8.3.1	@nullFlavor	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> "NI" を設定する。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.2.3.4 受診券・利用券情報と保険者情報

**受診券の情報に加えて、利用券の情報が記述される。そのため、/ClinicalDocument/participant が2回繰り返される。受診券情報か利用券情報かの区別は、/ClinicalDocument/participant/functionCode/@code で識別される。**

**特定健診仕様には存在していた受診券の利用期限は存在せず、利用券には期限が存在することに注意。**

利用者が健診実施時に属した保険者の情報および、その保険者が発行した受診券および利用券に関する情報を表現する。表8に示す項目が含まれる。なお、保険者番号については、recordTarget (XML仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号と同一でなければならない。万一、値が異なる場合には、recordTarget (XML仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号のほうが正しいものとして処理される。

表8 受診券情報と保険者情報へのマッピング項目

No	項目名	XML仕様 No	XPath
	受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[1]/associatedEntity/id/@extension
	受診券を発行した保険者番号	9.8.1	/ClinicalDocument/participant[1]/associatedEntity/scopingOrganization / id/@extension
	利用券有効期限	エラー! 参照元が見つかりません。	/ClinicalDocument/participant[2]/time/high/@value
	利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[2]/associatedEntity/id/@extension
	利用券を発行した保険者番号	9.8.1	/ClinicalDocument/participant[2]/associatedEntity/scopingOrganization / id/@extension

受診券情報と保険者情報のXML仕様を表9および表9-1に示す。

表9 受診券情報と保険者情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant[1]	受診券情報	0..1 (欄外注)	○ (欄外注)
9.1	@typeCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.2001.19.6.208」を設定。	1..1	M
9.5	associatedEntity	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

9.6	associatedEntity/id	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>受診券整理番号</b> 」に対応する文字列。数字 11桁固定	1..1	M
9.6.2	@root	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 受診券整理番号のためのOID。 「1.2.392.200119.6.209.nnnnnnnnn」を設定。こ こで nnnnnnnnn は XML 仕様 No.9.8.1 に記 述される保険者番号8桁の先頭に <b>1をつけて</b> <b>9桁とした番号</b> 。OID表も参照のこと。	1..1	M
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 受診券を発行した保険者の保険者情報。	1..1	M
9.8	associatedEntity/scopingOrganization/id	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 受診券を発行した保険者の保険者番号。	1..1	M
9.8.1	@extension	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>(受診券を発行した)保険者番号</b> 」。 recordTarget (XML 仕様 No.6)の中で記述 される保険者番号と同一でなければなら ない。	1..1	M
9.8.2	@root	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 保険者番号のOID。「1.2.392.200119.6.101」 を設定。	1..1	M

表 9-1 利用券情報と保険者情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant[2]	利用券情報	0..1 (欄 外注)	○ (欄 外注)
9.1	@typeCode	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> HL7 ポキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様で 設定する値は異なる。</u> 利用券券面種別コードを示す「 <b>2</b> 」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 受診券・利用券の券面種別コードのための OID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	<u>利用券の有効期間</u>	1..1	M
9.4	time/high	有効期間の終了日すなわち有効期限。終了 日を含む。	1..1	M
9.4.1	@value	「 <b>利用券有効期限</b> 」、書式は“YYYYMMDD”。	1..1	M
9.5	associatedEntity	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 利用券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> HL7 ポキャブラリドメイン RoleClass から 「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 利用券整理番号	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

9.6.1	@extension	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>受診券整理番号</b> 」に対応する文字列。数字 11桁固定	1..1	M
9.6.2	@root	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様 で、設定する値は異なる。</u> 利用券整理番号のための OID で、受診券の それとは異なる。 「1.2.392.200119.6.210.nnnnnnnnn」を設定。こ こで nnnnnnnnn は XML 仕様 No.9.8.1 に記 述される保険者番号8桁の先頭に1をつけて 9桁とした番号。OID表も参照のこと。	1..1	M
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 利用券を発行した保険者の保険者情報。	1..1	M
9.8	associatedEntity/scopingOrganization/id	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 利用券を発行した保険者の保険者番号。	1..1	M
9.8.1	@extension	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 「 <b>(利用券を発行した)保険者番号</b> 」。 recordTarget(XML 仕様 No.6)の中で記述 される保険者番号と同一でなければなら ない。また <b>受診券を発行した保険者番号</b> と同一でなければならない。	1..1	M
9.8.2	@root	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」 を設定。	1..1	M

注：受診券は健診が個別契約で実施された場合には存在しない場合がある。利用券は保健指導が個別契約で実施される場合には存在しない場合がある。それぞれ集合契約による場合には存在する。

受診券と保険者情報の XML サンプルを以下に示す。



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- 受診券の情報-->
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
<time>
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 受診券番号 11223344551 -->
<id extension="11223344551" root="1.2.392.200119.6.209.131130685" />

<!-- 保険者情報 -->
<scopingOrganization>
  <!-- 保険者番号 31130685 -->
  <id extension="31130685" root="1.2.392.200119.6.101" />
</scopingOrganization>
</associatedEntity>
</participant>

<!-- 利用券の情報-->
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
<time>
<!-- high は利用券の有効期限（その日を含む）-->
<high value="20080331" />
</time>

  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 利用券番号 11223344551 -->
<id extension="11223344551" root="1.2.392.200119.6.210.131130685" />

  <!-- 保険者情報 -->
  <scopingOrganization>
    <!-- 保険者番号 31130685 -->
    <id extension="31130685" root="1.2.392.200119.6.101" />
  </scopingOrganization>
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.2.3.5 保健指導実施情報

**健診仕様書の健診実施情報部分と同一仕様。**  
**保健指導の実施に関する基本情報を表現する。表 10 に示す項目が含まれる。**

表 10 保健指導実施に関する基本情報に含まれる項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	保健指導実施時のプログラム種別	10.2.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code
	保健指導実施年月日	10.3.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/effectiveTime/@value
	保健指導実施機関番号	10.8.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id/@extension
	保健指導実施機関名称	10.9.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name/text()
	保健指導実施機関電話番号	10.10.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom/@value
	保健指導実施機関住所	10.11.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/text()
	保健指導実施機関郵便番号	10.12.1	/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode/text()

健診実施情報の XML 仕様を表 11 に示す。

表 11 保健指導実施情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
10	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
10.1	serviceEvent	保健指導実施情報。	1..1	M
10.2	serviceEvent/code	プログラムサービスコード。 ヘッダー部の保健指導管理情報における code (XML 仕様 No.3) は本ファイルを作成し提出する事由区分の意味で使用するのに対して、この健診プログラムサービスコードは、保健指導実施時にどのような区分として実施されたかを示す。	1..1	M
10.2.1	@code	特定保健指導として実施された場合、「100」を設定。	1..1	M
10.2.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 コード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1002」を設定。	1..1	M
10.2.3	@displayName	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 コードの表示名。「特定保健指導」を設定。省略可能。	0..1	O
10.3	serviceEvent/effectiveTime	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導の実施日。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version:	1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書		

10.3.1	@value	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「保健指導 <b>実施年月日</b> 」に対応する文字列。 書式は「YYYYMMDD」。 初回報告時は初回面接の実施日付、 中間報告時は中間評価の実施日付、 最終報告(6ヵ月後報告)および国への実績 報告用では、6ヵ月後の評価の実施日付を それぞれ格納する。 なお、契約により継続支援期間の途中で実績 報告を行う場合には、その時点で最も直近の 指導実施日を設定することが望ましい。	1..1	M
10.4	serviceEvent/performer	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導プログラムサービスの実施者情報	1..1	M
10.4.1	@typecode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> HL7 ポキャブラリドメイン より「PRF」を設定。	1..1	M
10.5	serviceEvent/performer/assignedEntity	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関情報	1..1	M
10.6	serviceEvent/performer/assignedEntity/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関識別子	1..1	M
10.6.1	@nullFlavor	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」 を設定。	1..1	M
10.7	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関	1..1	M
10.8	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関の番号	1..1	M
10.8.1	@extension	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「保健指導 <b>実施機関番号</b> 」に対応する文字 列。数字 10 桁固定。	1..1	M
10.8.2	@root	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関のための OID を設定。 保健指導機関:「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
10.9	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関の名称。	1..1	M
10.9.1	text()	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「保健指導 <b>実施機関名称</b> 」文字列。	1..1	M
10.10	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関の連絡先情報。	1..1	M
10.10.1	@value	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけ とし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含ま ない。例: "tel:0312345678"	1..1	M
10.11	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関の所在地情報。	1..1	M
10.11.1	text()	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「保健指導 <b>実施機関住所</b> 」に対応する住所を 2バイト系だけからなる文字列で記録。郵便 番号を含まず、空白を含めない。	1..1	M
10.12	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 保健指導実施機関の所在地郵便番号情報。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

10.12.1	text()	<a href="#">健診仕様書の当該部分と同一仕様。</a> 「保健指導実施機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4}。ハイフンを含む)。	1..1	M
---------	--------	---	------	---

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3 ボディ部

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回情報、継続支援情報、中間評価情報、最終評価情報、指導集計情報の各セクションにわけて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエントリ記述ブロック（Entry）から構成される。

説明ブロックは、section 要素内の text 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、text 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエントリ記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では text 要素には指導共通情報セクションにおいてのみ限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エlementとする。

一方、エントリ記述ブロックは、section 要素の子要素となる entry 要素の繰り返しで記述する。section 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す code 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 12 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 12 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	指導共通情報セクション	支援レベル・行動変容ステージ、保健指導コース名情報
90030	指導初回情報セクション	初回面接実施情報 保健指導計画情報
90040	継続支援情報セクション	支援 A・支援 B の実施情報
90050	中間評価情報セクション	中間評価情報
90060	最終評価情報セクション	最終評価情報（6ヶ月評価情報）
90070	指導集計情報セクション	計画集計情報 実施済み集計情報

ボディ部の XML 仕様を表 13 に示す。

表 13 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.6 節。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

以下に CDA ボディの XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.6 節にそれぞれ示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 指導共通情報セクション-->
      </section>
    </component>

    <component>
      <section>
        <!-- 指導初回情報セクション -->
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.1 保健指導報告区分とCDAセクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分との関係は表14のようになる。

表14 保健指導区分とセクションの関係

使用されるセクション	格納される情報エントリ	保健指導情報(個票)項目番号	1回目報告・請求時	継続支援の状況報告時(中間評未実施時点)※欄外注	中間評価実施時※欄外注	2回目報告時・請求時(6ヶ月評価実施時)	国への実績報告時
			報告区分コード=21	報告区分コード=24※欄外注2	報告区分コード=24	報告区分コード=22	報告区分コード=30
指導共通情報	支援レベル・行動変容ステージ、保健指導コース名情報	1001～1003	必須 ただし保健指導コース名情報(1003)は委託時のみ必須。	任意(1回目報告時と変更ある場合には必須と なることがある)	任意(前回報告時と変更ある場合には必須と なることがある)	任意	必須 ただし保健指導コース名情報(1003)は任意。
指導初回情報	初回面接実施情報	1004～1007	必須	任意	任意	任意	必須
	保健指導計画情報	1008 および 1009～1015	委託時は必須。それ以外では継続的支援予定期間(1008)のみ必須	任意	任意	任意	継続的支援予定期間(1008)のみ必須。他は任意
中間評価情報	中間評価情報	1016～1027	なし	なし	必須	委託時は必須	
継続支援情報	支援A/B情報	1028～1067	なし	契約によるが趣旨からすれば必須	契約による	委託時は必須	
最終評価情報	最終評価情報	1068～1078	なし	なし	なし	必須	必須
指導集計情報	計画集計情報	1079～1094	必須	契約による	契約による	任意	必須
	実施済み集計情報	1095～1112	なし	なし	なし	必須	必須

報告区分コードは/ClinicalDocument/code/@code(XML仕様No.3.1)と対応する。

表中の「任意」は、不要であるが、個別の取り決めにより存在させることは、本仕様上は可能である、の意味。

表中の「契約による」は、個別の契約で報告を義務付けられれば報告することがあり得る、の意味。

注：個別契約等によりこの時点での報告をすることとなっている場合。

注2：被保険者資格喪失による利用停止・脱落等により途中終了時報告となる場合には区分コード=23となる。

### 3.3.2 指導共通情報セクション

※3.3.2節以降では、原則として健診仕様書とすべて異なるため、健診仕様書との相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.2.1 セクション部仕様

指導共通情報セクションは、支援レベル（保健指導情報個票番号 1001、項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（同 1002、項目コード 1020000002）、保健指導コース名（同 1003、項目コード 1020000003）の3つだけを格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である1個のentry要素を含む。セクションコードには健診データ CDA セクションコードのうち「90010」を指定する。

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 15 に示す。

表 15 指導共通情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90010」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導共通情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1 つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、検査項目とその結果値を表現する。各健診項目に対して、1つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「項目名 値（表示用テキスト）」（項目名と値の間の空白は半角スペース）とする。

またなんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 16 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも **text** 要素は必須である。

表 16 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値(表示用テキスト)
1001	支援レベル	「積極的支援」または「動機づけ支援」
1002	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」
1003	保健指導コース名	コースの名前をあらわす文字列

表 17 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..*	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「項目名 値(表示用テキスト)」(項目名と値の間の空白は半角スペース)	1..1	M

#### text 記述する例

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>支援レベル 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      <item>保健指導コース名 すこやか個別指導コース</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は3つであり、次の表 18 で指定される保健指導項目コード、XML用データ型、OIDの組み合わせを使用してXMLデータを作成する。

表 18 指導共通情報セクションにおける保健指導項目コード

番号	項目名	項目コード OID= 1.2.392.200119.6.1006	XML デー タ型	CDデータ型の場合のの コード表の OID	とりうる値など
1001	支援レベル	1020000001	CD	1.2.392.200119.6.3001	1 または 2
1002	行動変容ステ ージ	1020000002	CD	1.2.392.200119.6.3002	1 から 5
1003	保健指導コース 名	1020000003	ST	該当せず	文字列 64 バイ ト(漢字 32 文 字)以内

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 19 に示す。

表 19 指導共通情報セクションの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを表 18 の 1～3 項目分だけ繰り返す。

No	XPath	説明	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..3	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship /observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship /observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード 表 18 の項目コードを設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導コード名。ファイルサイズを小さくしたい場合には	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

		省略する。		
11.13	entryRelationship /observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	表 18 の XML 用データ型を設定。 コード値の場合:「CD」 文字列の場合:「ST」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合、コード値を設定。 文字列型「ST」の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード表のOID。表 18 のコード表のOIDを設定。 文字列型「ST」の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。	0..1	O

指導共通情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクション"/>
    <text>
      <list>
        <item>支援レベル 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
        <item>保健指導コース名 個別指導コース</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>

        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 支援レベル -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3001"/>
          </observation>
        </entryRelationship>

        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 行動変容ステージ ( 初回面接時 ) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>

        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導コース名 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000003"/>
            <value xsi:type="ST">個別指導コース</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

### 3.3.3 指導初回情報セクション

#### 3.3.3.1 セクション部仕様

指導初回情報セクションは、初回面接実施時の情報として、表 20 の項目情報が表現される。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

含む。セクションコードには健診データ CDA セクションコードのうち「90030」を指定する。

表 20 指導初回情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
初回面接 実施情報	1004	1022000011	初回面接の実施日付
	1005	1022000012	初回面接による支援の支援形態
	1006	1022000013	初回面接の実施時間
	1007	1022000015	初回面接の実施者
保健指導 計画情報	1008	1021000020	継続的支援予定期間
	1009	1021001031	目標腹囲
	1010	1021001032	目標体重
	1011	1021001033	目標収縮期血圧
	1012	1021001034	目標拡張期血圧
	1013	1021001050	一日の削減目標エネルギー量
	1014	1021001051	一日の運動による目標エネルギー量
	1015	1021001052	一日の食事による目標エネルギー量

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 21 に示す。

表 21 指導初回情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90030」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納する entry	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

### 3.3.3.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。動機付け支援では、初回面接実施情報エントリだけからなる場合がある。どちらのエントリも必要のない場合には、指導初回情報セクション自体が存在しないことになる。

初回面接実施情報エントリの XML 仕様を表 22 に示す。

表 22 初回面接実施情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態(項目番号 1005)のコード値	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.3003	1..1	M
11.14	act/effectivetime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日(項目番号 1004)の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者(項目番号 1007)のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループ	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

		を構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。		
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 ここでは、初回面接実施時間の項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コードOID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectivetime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectivetime/width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@units	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリーのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援(項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3003"/>
        <!-- 初回面接の実施日付(項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20070720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師(項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  :
</section>
</component>

```

### 3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。以下の説明ではこのエントリに格納される保健指導項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される保健指導項目表(XML用)を参照すること。本エントリは動機付け支援の場合には存在しないことがある。積極的支援の場合には2回目の請求時(セクション自体が存在しない)を除き、本エントリは必ず存在する。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表23に示す(行Noは再掲)。

表23 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		0..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、 <b>計画を示す「INT」を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。</b>	1..1	M
11.9	act/code	保健指導計画のアクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。 <b>「NI」でないことに注意。</b>	1..1	M

上記につづいて、保健指導計画に関する項目（表 20：番号 1008～10015）について下記の表 23-1（行 No は再掲）の act/entryRelationship の繰り返しを記述する。

なお表 23-1 において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <http://tokuteikenshin.jp> から提供される保健指導項目表(XML用)を参照する必要がある。

表 23-1 保健指導計画情報エントリの XML 仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、 <b>計画を示す「INT」または「GOL」を設定。項目によりどちらを設定すべきかは、保健指導項目表(XML用)を参照すること。</b>	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	<b>保健指導項目表(XML用)の XML 用データ型を設定。</b> コード値の場合:「CD」 文字列の場合:「ST」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。表 17 のコード表のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、 <b>保健指導項目表(XML用)の XML 用単位文字列を設定。</b> その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 目標腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="GOL">
            <code code="1021000031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 目標体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="GOL">
            <code code="1021000032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="75.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      :
    </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.4 指導集計情報セクション

#### 3.3.4.1 セクション部仕様

指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリーで記述し、そのどちらか一方または両方のエントリーを格納するセクションである。初回報告時および6ヶ月後実績報告時、最終的な国への報告時にこのセクションは使用される。説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには健診データ CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。

表 24 指導集計情報セクションで表現される保健指導の報告項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
計画上の集計情報	1079	1041800117	計画上の継続的な支援の実施回数
	1080	1041101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1081	1041101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1082	1041201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1083	1041201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1084	1041302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1085	1041302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1086	1041103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1087	1041103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)
	1088	1041104117	同上の実施回数(e-mailA による支援)
	1089	1041203117	同上の実施回数(電話 B による支援)
	1090	1041203113	同上の合計実施時間(電話 B による支援)
	1091	1041204117	同上の実施回数(e-mailB による支援)
	1092	1041100114	同上のポイント(支援 A)
	1093	1041200114	同上のポイント(支援 B)
1094	1041800114	同上のポイント(合計)	
実施上の集計情報	1095	1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数
	1096	1042101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1097	1042101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1098	1042201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1099	1042201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1100	1042302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1101	1042302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1102	1042103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1103	1042103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)
	1104	1042104117	同上の実施回数(e-mailA による支援)
	1105	1042203117	同上の実施回数(電話 B による支援)
	1106	1042203113	同上の合計実施時間(電話 B による支援)
	1107	1042204117	同上の実施回数(e-mailB による支援)
	1108	1042100114	同上のポイント(支援 A)
	1109	1042200114	同上のポイント(支援 B)
	1110	1042800114	同上のポイント(合計)
	1111	1042800118	禁煙指導の実施回数
	1112	1042000022	実施上の継続的な支援の終了日

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 25 に示す。基本的な構造は指導初回情報セクションと同一であり、セクションコードと表示名が異なることと、エントリーの数が異なることである。

表 25 指導集計情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	0..1	O
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	0..1	O

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

### 3.3.4.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

指導集計情報セクションは報告時点や契約により、計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの2つのうちのどちらか一方または両方格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は格納すべき報告項目が表 24 のように 2 項目多いことだけである。計画と実施のエントリの区別は表 26 の XML 仕様 No.11.8.2 で示される moodCode、および同表 XML 仕様 No.11.14.2 で示される moodCode が、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わる

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

ことがあるため、必要に応じて別に提供される保健指導項目表（XML用）を参照すること。

集計情報エントリのXML仕様を表26に示す（行Noは再掲）。

表26 集計情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		1..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 <b>計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。</b> <b>実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。</b>	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目（表24）について下記の表26-1（行Noは再掲）のact/entryRelationshipの繰り返して記述する。

なお表26-1において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に<http://tokuteikenshin.jp> から提供される保健指導項目表(XML用)を参照する必要がある。

表26-1 集計情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の1項目分のブロック情報	1..18	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 <b>計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。</b> <b>実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。</b>	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導情報項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コードOID デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	<b>保健指導項目表(XML用)のXML用データ型を設定。</b> 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」となっている。	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。 <b>保健指導項目表(XML用)のOIDを設定。</b> その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	○
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、 <b>保健指導項目表(XML用)のXML用単位文字列を設定。</b> その他の型の場合には出現しない。	0..1	○

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリーのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数 5回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041800117"/>
            <value xsi:type="INT" value="5"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="1" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="1" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      :
    </act>
  </entry>
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。  
 実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
      displayName="指導集計情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA" />
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数 7回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042800117" />
            <value xsi:type="INT" value="7" />
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数（個別支援A）1回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042101117" />
            <value xsi:type="INT" value="1" />
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042800118" />
            <value xsi:type="INT" value="1" />
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042000022" />
            <value xsi:type="ST">20080120</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.5 継続支援情報セクション

#### 3.3.5.1 セクション部仕様

継続支援情報セクションは、支援 A または支援 B の記述をそれぞれ 1 回の支援を 1 つのエントリーで記述しそれを繰り返しとして格納することにより、報告時点までに実施された継続支援の情報を格納する。ひとつのエントリーには表 27 の項目情報が表現される。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を含む。セクションコードには健診データ CDA セクションコードのうち「90040」を指定する。厚労省手引き付属資料 7 には、支援 A が 4 回、支援 B が 4 回として書かれているが、当然のことながらこの回数はサンプルとして書かれているものであり、実際にはそれぞれ任意回ずつ繰り返されることになる。

表 27 継続支援情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号 (上段支援A) (下段支援B)	項目コード (上段支援A) (下段支援B)	項目名
継続支援情報	1028	1032100011	支援の実施日付
	1048	1032200011	
	1029	1032100012	支援の支援形態
	1049	1032200012	
	1030	1032100013	支援の実施時間
	1050	1032200013	
	1031	1032100014	支援の実施ポイント
	1051	1032200014	
	1032	1032100015	支援の実施者
	1052	1032200015	

継続支援情報セクションの XML 仕様を表 28 に示す。

表 28 継続支援セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	継続支援 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90040」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「継続支援情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1..]	支援Aに関する実施情報を格納する entry	1..*	M
11.7(繰り返し)	entry[1..]	支援Bに関する実施情報を格納する entry	1..*	M

継続支援情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<section>
  <code code="90040" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="継続支援情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 支援Aの記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
  <!-- 支援Bの記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
</section>

```

### 3.3.5.2 支援 A または支援 B エントリ仕様

継続支援情報セクションに含まれるエントリは支援 A 情報エントリ 1 個以上と支援 B 情報エントリ 1 個以上である。両者はコードの違いのみであり構造は同一である。

継続支援情報の支援 A/B 情報エントリの XML 仕様を表 29 (XML 仕様 NO は一部再掲) に示す。

表 29 支援 A/B 情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		1..*	M
11.8	act	継続支援の実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値(厚労省別表13)	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	支援形態のOID 1.2.392.200119.6.1113	1..1	M
11.14	act/effectivetime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	支援の実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity	支援委託先情報(委託してこの支援を実施した場合に記述)	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

	ntity/representedOrganization	する)		
11.19.1	id/@extension	委託先機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.3	Name/text()	指導委託先機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	2..32.2	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	支援実施時間項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード表から以下のコードを設定する。 支援実施時間の項目コード 支援 A のとき「1032100013」 支援 B のとき「1032200013」	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectivetime	支援の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectivetime/width	支援の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)を設定。	1..1	M
11.18.2	@units	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。 支援形態が電子メールの場合には便宜上、0分を設定する。	1..1	M
11.12(再掲)	act/entryRelationship/observation/code	支援実施ポイント項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード表から以下のコードを設定する。 支援実施ポイントの項目コード 支援 A のとき「1032100014」 支援 B のとき「1032200014」	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	支援実施ポイント項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	データタイプとして整数型「INT」を設定。	1..1	M
11.13.2	@value	ポイント数値を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

以上の仕様にもとづき、の支援 A/B 情報エントリのサンプルを以下に示す。  
 実際にはこのような entry を実施した回数だけ繰り返すことになる。  
 電子メールのように実施時間が事実上存在しない場合には、実施時間の情報として 0 分を格納する。

```

<entry>
  <!-- 支援B実施情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 支援実施形態コード (別表 1 3) 個別支援B -->
    <code code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1113"/>
    <!-- 支援B実施日付 (項目コード: 1032200011) -->
    <effectiveTime value="20070801"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <!-- 支援B実施者のコード: 1 = 医師 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 委託先機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 委託先名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 支援B実施時間(項目コード:1032200013 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1032200013"/>
        <effectiveTime>
          <width value="15" unit="min"/>
        </effectiveTime>
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 支援B実施ポイント -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1032200014"/>
        <value xsi:type="INT" value="5"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.3.6 中間評価情報セクションおよび最終評価情報セクション

#### 3.3.6.1 セクション部仕様

中間評価情報セクションと最終評価情報セクション（両方をあわせて以下では評価情報セクションと記す）は、ある時点である実施形態により、ある評価実施者が保健指導評価を行った結果情報を格納するものであり、ひとつのエントリーで構成される。ひとつのエントリーは表 30 の項目情報が表現される。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。1 個だけの entry 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち、中間評価情報セクションでは「90050」、最終評価情報セクションでは「90060」を指定する。

表 30 評価情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
中間評価情報	1016	1032000011	中間評価の実施日付
	1017	1032000012	中間評価の支援形態
	1018	1032000013	中間評価の実施時間
	1019	1032000014	中間評価の実施ポイント
	1020	1032000015	中間評価の実施者
	1021	1032001031	中間評価時の腹囲
	1022	1032001032	中間評価時の体重
	1023	1032001033	中間評価時の収縮期血圧
	1024	1032001034	中間評価時の拡張期血圧
	1025	1032001042	中間評価時の生活習慣の改善(栄養・食生活)
	1026	1032001041	中間評価時の生活習慣の改善(身体活動)
1027	1032001043	中間評価時の生活習慣の改善(喫煙)	
最終(6ヶ月)評価情報	1068	1042000011	6 か月後の評価の実施日付
	1069	1042000012	6 か月後の評価の支援形態又は確認方法
	1070	1042000015	6 か月後の評価の実施者
	1071	1042000116	6 か月後の評価ができない場合の確認回数
	1072	1042001031	6 か月後の評価時の腹囲
	1073	1042001032	6 か月後の評価時の体重
	1074	1042001033	6 か月後の評価時の収縮期結圧
	1075	1042001034	6 か月後の評価時の拡張期血圧
	1076	1042001042	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)
	1077	1042001041	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)
	1078	1042001043	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

評価情報セクションの XML 仕様を表 31 に示す。

表 31 評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	中間評価情報セクションでは「90050」、最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「中間評価情報セクション」または「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry	評価情報を格納する entry	1..1	M

中間評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90050" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="中間評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 中間評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

### 3.3.6.2 中間評価情報エントリまたは最終評価情報仕様

それぞれの評価情報セクションに含まれるエントリは対応する中間評価情報エントリまたは最終評価情報エントリのどちらか 1 個だけである。中間評価情報エントリと最終評価情報エントリとの違いは格納すべき項目が一部異なることだけであり、その構造は同一である。

評価情報エントリの XML 仕様を表 32 (XML 仕様 NO は一部再掲) に示す。

表 32 中間評価情報エントリまたは最終評価情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/section/entry		1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

11.8	act	評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	評価実施形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	評価実施形態のコード値。中間評価時と6ヶ月評価時とでコード体系が異なるので注意(手引き付属資料7参照もしくはOID 表を参照のこと)	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	評価実施形態のOIDを設定する。 中間評価のとき 1.2.392.200119.6.3004 最終(6ヶ月)評価のとき 1.2.392.200119.6.3005	1..1	M
11.14	act/effectivetime	評価実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	評価実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	評価実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	評価実施者のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	評価実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価委託先情報(委託してこの評価を実施した場合に記述する)	0..1	O
11.19.1	id/@extension	委託先機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.3	Name/text()	委託先機関の名称	1..1	M

上記について、評価情報に関する報告項目(表30)について下記の表32-1(行Noは再掲)のact/entryRelationshipの繰り返しにより記述する。

なお表32-1において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に<http://tokuteikenshin.jp>から提供される保健指導項目表(XML用)を参照する必要がある。

表32-1 評価情報エントリのXML仕様(つづき)

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の1項目分のブロック情報	1..12	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、 結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/ob	中間評価の実施時間に関する情報	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

	servation/effectivetime	(11.13 保健指導情報項目の値が記述されるときには、本項目は存在しない)		
11.18	act/entryRelationship/observation/effectivetime/width	中間評価の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	中間評価の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@units	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値 (11.7 実施時間が記述されるときには、本項目は存在しない)	0..1	O
11.13.1	@xsi:type	<b>保健指導項目表(XML用)のXML用データ型を設定。</b> 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」となっている。	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。 <b>保健指導項目表(XML用)のOIDを設定。</b> その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、 <b>保健指導項目表(XML用)のXML用単位文字列を設定。</b> その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、中間評価情報のエントリーのサンプルを以下に示す。



特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

```

<component>
  <section>
    <code code="90050" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="中間評価情報セクシ
    ヨン"/>
    <text />
    <!--中間評価-->
    <entry>
      <!-- 中間評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 中間評価の支援形態(項目コード:1032000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3004"/>
        <!-- 中間評価の実施日付 : 2007年10月20日(項目コード:1032000011) -->
        <effectiveTime value="20071020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 中間評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 中間評価の実施時間(項目コード:1032000013) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="010201018"/>
            <effectiveTime>
              <width value="5" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 中間評価の実施ポイント -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032000014"/>
            <value xsi:type="INT" value="5"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 中間評価時の腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        :
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

### 3.4 報告すべき項目とXML要素との対応

これまでの説明で、厚労省手引きの付属資料7保健指導情報の一覧に記載されているすべての項目は、いずれかのセクションのエントリ内で記述されているが、対応を表として以下に整理する。

なお、以下の点に留意することが必要である。

#### 1. 支援Aおよび支援Bの実際に記述回数について

番号1028～1047の支援Aに関する情報はこの表では4回を想定して作成されているが、実施には1回から4回を超える場合までさまざまである。報告時に作成されるXMLファイルでは、最大4回までとするのではなく、実際に実施した回数だけ繰り返すことになる。

番号1048～1067の支援Bについても同様に、実際に実施した回数だけ繰り返すことが必要である。

#### 2. 委託先保健指導機関の情報について

番号1113～1115の委託先保健指導機関に関する情報が、この表では最大4回繰り返されている。このファイル仕様は、保健指導を行う機関が保険者に報告する場合に使用されるものである。したがって、ここでいう委託先保健指導機関に関する情報とは、保健指導を行う機関がさらに支援Aまたは支援Bの一部を再委託した場合において、その再委託先に関する情報ということになる。

この情報は本XML仕様では、継続支援情報セクション/継続支援情報エントリで記述される各支援AまたはBの実施情報の中で実施者および支援形態のところに格納されている。

これらを本ファイル受信者が寄せ集めることにより取得できる情報であるので、番号1113～1115に対応する専用のXML要素は用意していない。

なお、番号1115の「主対応内容」の主とは、その委託先に対して委託した支援業務形態のコード（1：個別支援、2：グループ支援、3：電話、4：電子メール支援）のうち、コードの値が最小であるような支援形態（すなわち、1：個別支援、2：グループ支援の両方を委託した場合には、コードの小さい1：個別支援が主対応内容となる）とみなしてよい。

※5				
番号	項目コード	項目名	セクション	エントリー名
1001	102000001	支援レベル	指導共通情報セクション	
1002	102000002	行動変容ステージ	指導共通情報セクション	
1003	102000003	保健指導コース名	指導共通情報セクション	
1004	1022000011	初回面接の実施日付	指導初回情報セクション	初回面接実施情報
1005	1022000012	初回面接による支援の支援形態	指導初回情報セクション	初回面接実施情報
1006	1022000013	初回面接の実施時間	指導初回情報セクション	初回面接実施情報
1007	1022000015	初回面接の実施者	指導初回情報セクション	初回面接実施情報
1008	1021000020	継続的支援予定期間	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1009	1021001031	目標腹囲	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1010	1021001032	目標体重	指導初回情報セクション	保健指導計画情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

1011	1021001033	目標収縮期血圧	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1012	1021001034	目標拡張期血圧	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1013	1021001050	一日の削減目標エネルギー量	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1014	1021001051	一日の運動による目標エネルギー量	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1015	1021001052	一日の食事による目標エネルギー量	指導初回情報セクション	保健指導計画情報
1016	1032000011	中間評価の実施日付	中間評価情報セクション	中間評価情報
1017	1032000012	中間評価の支援形態	中間評価情報セクション	中間評価情報
1018	1032000013	中間評価の実施時間	中間評価情報セクション	中間評価情報
1019	1032000014	中間評価の実施ポイント	中間評価情報セクション	中間評価情報
1020	1032000015	中間評価の実施者	中間評価情報セクション	中間評価情報
1021	1032001031	中間評価時の腹囲	中間評価情報セクション	中間評価情報
1022	1032001032	中間評価時の体重	中間評価情報セクション	中間評価情報
1023	1032001033	中間評価時の収縮期血圧	中間評価情報セクション	中間評価情報
1024	1032001034	中間評価時の拡張期血圧	中間評価情報セクション	中間評価情報
1025	1032001042	中間評価時の生活習慣の改善 (栄養・食生活)	中間評価情報セクション	中間評価情報
1026	1032001041	中間評価時の生活習慣の改善 (身体活動)	中間評価情報セクション	中間評価情報
1027	1032001043	中間評価時の生活習慣の改善 (喫煙)	中間評価情報セクション	中間評価情報
1028	1032100011	支援A①の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1029	1032100012	支援A①の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1030	1032100013	支援A①の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1031	1032100014	支援A①の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1032	1032100015	支援A①の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1033	支援A①の対応 するコードと同一	支援A②の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1034	支援A①の対応 するコードと同一	支援A②の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1035	支援A①の対応 するコードと同一	支援A②の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

1036	支援A①の対応するコードと同一	支援A②の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1037	支援A①の対応するコードと同一	支援A②の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1038	支援A①の対応するコードと同一	支援A③の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1039	支援A①の対応するコードと同一	支援A③の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1040	支援A①の対応するコードと同一	支援A③の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1041	支援A①の対応するコードと同一	支援A③の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1042	支援A①の対応するコードと同一	支援A③の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1043	支援A①の対応するコードと同一	支援A④の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1044	支援A①の対応するコードと同一	支援A④の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1045	支援A①の対応するコードと同一	支援A④の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1046	支援A①の対応するコードと同一	支援A④の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1047	支援A①の対応するコードと同一	支援A④の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1048	1032200011	支援B①の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1049	1032200012	支援B①の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1050	1032200013	支援B①の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1051	1032200014	支援B①の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1052	1032200015	支援B①の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1053	支援B①の対応するコードと同一	支援B②の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1054	支援B①の対応するコードと同一	支援B②の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1055	支援B①の対応するコードと同一	支援B②の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1056	支援B①の対応するコードと同一	支援B②の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1057	支援B①の対応するコードと同一	支援B②の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1058	支援B①の対応するコードと同一	支援B③の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1059	支援B①の対応するコードと同一	支援B③の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1060	支援B①の対応するコードと同一	支援B③の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

1061	支援B①の対応するコードと同一	支援B③の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1062	支援B①の対応するコードと同一	支援B③の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1063	支援B①の対応するコードと同一	支援B④の実施日付	継続支援情報セクション	継続支援情報
1064	支援B①の対応するコードと同一	支援B④の支援形態	継続支援情報セクション	継続支援情報
1065	支援B①の対応するコードと同一	支援B④の実施時間	継続支援情報セクション	継続支援情報
1066	支援B①の対応するコードと同一	支援B④の実施ポイント	継続支援情報セクション	継続支援情報
1067	支援B①の対応するコードと同一	支援B④の実施者	継続支援情報セクション	継続支援情報
1068	1042000011	6ヶ月後の評価の実施日付	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1069	1042000012	6ヶ月後の評価の支援形態又は確認方法	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1070	1042000015	6ヶ月後の評価の実施者	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1071	1042000116	6ヶ月後の評価ができない場合の確認回数	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1072	1042001031	6ヶ月後の評価時の腹囲	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1073	1042001032	6ヶ月後の評価時の体重	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1074	1042001033	6ヶ月後の評価時の収縮期血圧	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1075	1042001034	6ヶ月後の評価時の拡張期血圧	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1076	1042001042	6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1077	1042001041	6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1078	1042001043	6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)	最終評価情報セクション	最終(6ヶ月)評価情報
1079	1041800117	計画上の継続的な支援の実施回数	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1080	1041101117	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1081	1041101113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1082	1041201117	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1083	1041201113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1084	1041302117	計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

1085	1041302113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1086	1041103117	計画上の継続的な支援の実施回数(電話 A による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1087	1041103113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話 A による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1088	1041104117	計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailA による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1089	1041203117	計画上の継続的な支援の実施回数(電話 B による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1090	1041203113	計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話 B による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1091	1041204117	計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailB による支援)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1092	1041100114	計画上の継続的な支援によるポイント(支援 A)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1093	1041200114	計画上の継続的な支援によるポイント(支援 B)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1094	1041800114	計画上の継続的な支援によるポイント(合計)	指導集計情報セクション	計画上の集計情報
1095	1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1096	1042101117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援 A)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1097	1042101113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援 A)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1098	1042201117	実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援 B)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1099	1042201113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援 B)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1100	1042302117	実施上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1101	1042302113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1102	1042103117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話 A による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1103	1042103113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話 A による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1104	1042104117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailA による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1105	1042203117	実施上の継続的な支援の実施回数(電話 B による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1106	1042203113	実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話 B による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1107	1042204117	実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailB による支援)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1108	1042100114	継続的な支援によるポイント(支援 A)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1109	1042200114	継続的な支援によるポイント(支援 B)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

1110	1042800114	継続的な支援によるポイント(合計)	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1111	1042800118	禁煙指導の実施回数	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1112	1042000022	実施上の継続的な支援の終了日	指導集計情報セクション	実施上の集計情報
1113	1042000081	委託先保健指導機関番号(1)	別記	別記
1114	1042000082	委託先保健指導機関名(1)	別記	別記
1115	1042000085	主対応内容(1)	別記	別記
1116	委託先保健指導機関番号(1)と同じ	委託先保健指導機関番号(2)	別記	別記
1117	委託先保健指導機関名(1)と同じ	委託先保健指導機関名(2)	別記	別記
1118	主対応内容(1)と同じ	主対応内容(2)	別記	別記
1119	委託先保健指導機関番号(1)と同じ	委託先保健指導機関番号(3)	別記	別記
1120	委託先保健指導機関名(1)と同じ	委託先保健指導機関名(3)	別記	別記
1121	主対応内容(1)と同じ	主対応内容(3)	別記	別記
1122	委託先保健指導機関番号(1)と同じ	委託先保健指導機関番号(4)	別記	別記
1123	委託先保健指導機関名(1)と同じ	委託先保健指導機関名(4)	別記	別記
1124	主対応内容(1)と同じ	主対応内容(4)	別記	別記

#### 4. OID 表

本文中で記載されている各種コードのコード体系コード(OID)は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.22
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	

本説明文書は、H18年度厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業（生活習慣病）：疾病予防サービスの制度に関する研究班の分担研究班「健診データの整備に関する検討(分担研究者：大江和彦)」により作成されました。

また本説明文書が対象としている特定健診データの標準的電子データ規格は、上記の厚生労働科学研究班のメンバーのほか、下記の厚生労働省「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG（座長：大江和彦）」、保健医療福祉情報システム工業会、日本HL7協会有志、およびここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG

大江和彦 東京大学大学院医学系研究科  
 奥 真也 東京大学医学部  
 窪寺 健 (株)NTTデータ  
 小林祐一 HOYAグループ総括産業医  
 酒巻哲夫 群馬大学医学部  
 松田晋哉 産業医科大学  
 吉田勝美 聖マリアンナ医科大学  
 渡辺清明 国際医療福祉大学  
 保健医療情報システム工業会・HL7協会  
 大島 義光 (株)日立製作所  
 大林 正晴 (株)管理工学研究所  
 香川 正幸 富士通(株)  
 小西 由貴範 (株)ケーアイエス  
 田中 教子 (株)ケーアイエス  
 平井 正明 日本光電工業(株)  
 橋本 大輔 (株)テクノロジックアート  
 村上 英 東芝住電医療情報システムズ(株)  
 大学関係等  
 新田見 有紀 東京大学医学部附属病院  
 星本 弘之 東京大学医学部附属病院  
 山本 隆一 東京大学大学院情報学環